

別記様式

		担当課	生涯学習課												
会議の名称	第2回鴻巣市立図書館協議会														
開催日	令和8年2月17日(火)														
開催時間	午前9時30分開会・午前11時35分閉会														
開催場所	鴻巣市役所本庁舎3階 303会議室														
議長(委員長・会長)氏名	委員長 奈良 高男														
出席者(委員)氏名(出席者数)	奈良高男 平野康子 森田文江 竹内茂雄 小峰 元 新井守夫 八馬武徳 金子雅子 中島規夫 吉田征人 (10名)														
欠席者(委員)氏名(欠席者数)	なし (0名)														
事務局職員職氏名	<table border="0"> <tr> <td>鴻巣中央図書館長</td> <td>安藤禎洋</td> </tr> <tr> <td>吹上図書館長</td> <td>原谷和夫</td> </tr> <tr> <td>川里図書館長</td> <td>保坂彩子</td> </tr> <tr> <td>生涯学習課長</td> <td>清水健紀</td> </tr> <tr> <td>生涯学習課副課長</td> <td>清水裕子</td> </tr> <tr> <td>生涯学習課副主査</td> <td>應本麻衣子</td> </tr> </table>			鴻巣中央図書館長	安藤禎洋	吹上図書館長	原谷和夫	川里図書館長	保坂彩子	生涯学習課長	清水健紀	生涯学習課副課長	清水裕子	生涯学習課副主査	應本麻衣子
鴻巣中央図書館長	安藤禎洋														
吹上図書館長	原谷和夫														
川里図書館長	保坂彩子														
生涯学習課長	清水健紀														
生涯学習課副課長	清水裕子														
生涯学習課副主査	應本麻衣子														
傍聴の可否	可(0人)														
会議の内容	1 開会 2 あいさつ 3 議事内容 (1) 令和7年度事業計画進捗状況報告(7月1日～12月31日実績) (2) 令和7年度蔵書点検結果報告 (3) 鴻巣市図書館を使った調べる学習コンクール報告 4 その他 5 閉会														
	<b>【質疑応答、決定事項等】</b> 3 議事内容 (1) 令和7年度事業計画進捗状況報告について説明を行い、次のような意見があった。 ・各事業での反省点、改善点を図書館ごとに教えてほしい。 ⇒鴻巣中央図書館：「電子図書館体験会」を図書館で開催しているが、図書館来館者は紙の本が好きな方が多い。生涯学習フェスティバルでは普段図書館に来館しない方が興味を持って聞いてくれた。アウトリーチの方法を考える必要があると感じた。 吹上図書館：中学校で行った出張授業「POPの作り方」について、実施時(12月)に感染症が流行し中止となってしまった学校があった。今後同様な事態となった場合に、Web等で何かできないか検討していきたい。														

決定事項

川里図書館：「電子図書館体験会」の参加者を増やすため、雑誌付録プレゼント企画と同日に開催したが思ったほど伸びなかった。今後は開催場所を検討したい。また、川里図書館休館に伴い電子図書館の活用を広めていきたい。

- ・「育児コンシェルジュ」の事業内容や参加人数等について説明してほしい。  
⇒毎月2回（うち1回は赤ちゃんおはなし会時）、保育士資格のある方が読み聞かせのへやを使い、絵本の紹介や親が絵本を選んでいる間の子どもの世話、育児相談などを行っている。平日昼間の開催ではあるが毎回参加者は3組程度おり、徐々に利用者が増えてきている。  
実施の周知は広報やインスタグラム等で行っている。現在は中央図書館のみの実施だが今後他館にも広げていきたい。
- ・電子図書館のログイン数の進捗状況は。  
⇒令和7年度から市内小・中学校の児童生徒へIDを配布したこともあり、ログイン数は1か月約7,000件（前年度比約200パーセント）となっている。
- ・来館者と電子図書館ログイン数とどちらが多いのか。  
⇒来館者の方が多い。
- ・吹上図書館で、ものづくり大学と共同実施した地域講座のように、地元の大学等と連携を図って事業の幅を広げるのは重要だと思う。
- ・電子図書館を小中学生へ広めていけば、親へも利用が広がるのではないかな。
- ・親子で情報リテラシーを学ぶ講座があってもいいのではないかな。
- ・電子図書館で子どものニーズに合った作品、名作が読めるようになれば、より利用が増えるのではないかな。また、人気作品はなかなか借りられない状況がある。子どもの利用が定着するには、そのあたりの問題が解決すると良いのではないかな。
- ・参加者から費用を徴収する事業はあるか。また、今後徴収予定はあるか。  
⇒基本的に参加者からの費用徴収はない。事業は図書館で用意できる材料を前提として企画しているため、今のところ参加者からの費用徴収は考えていない。今後、図書館の事業が見劣りするようであれば費用の徴収を考えていく。
- ・これだけ多くの事業を実施するのは大変だと思う。努力されていると感じる。

(2) 令和7年度蔵書点検結果報告について説明を行い、次のような意見があった。

- ・不明図書が発生する原因はどこにあると考えるか。  
⇒推察になるが、貸出処理をしないで持ち出されたのではないかな。
- ・古くなった資料は廃棄すると思うが、除籍する専門書を公民館等で販売するのはどうか。  
⇒検討課題としたい。
- ・貸出期限を過ぎても返却しない利用者はいるのか。いる場合はどのような対応をとっているのか。  
⇒期限を過ぎても返却しない利用者はいる。定期的に連絡し、直接自宅へ取りに行ったりもしているが返却しない。
- ・蔵書点検を行う意味はあるのか。  
⇒年1回蔵書点検を行うことでシステムと現物との整合性を保つ、必要な資料を買いなおす等の対応ができる。手間のかかる作業ではあるが、利用者のために必要な作業だと考えている。

	<p>(3) 鴻巣市図書館を使った調べる学習コンクール報告について説明を行い、次のような意見があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育長賞は全学年から選ぶのか。 ⇒低学年、中学年、高学年と年齢区分ごとに選んでいる。</li> <li>・図書館だよりに調べる学習コンクールの表彰結果を掲載しているのがとても良いと思った。</li> <li>・審査に参加したが、子どもの努力の跡がみえた。参加者が減ってしまっているが、特に高学年向かって増えていったらよいと思った。</li> <li>・児童数が減っているので参加作品数が減っているのは仕方ない部分もある。ミニ作品も奨励していくとより参加しやすくなるのではないか。また、デジタルでの発表方法でも可とすると、特に中学生で興味を持つ生徒が増えるのではないか。</li> <li>・全国コンクールで奨励賞を受賞した作品の広報にも力を入れると良いと思う。また、応募を増やすために、参加賞を工夫してもいいのでは。</li> </ul> <p>4 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習課より、川里図書館空調設備等改修工事に伴う臨時窓口の開設、令和8年度セカンドブックリスト候補本について報告を行った。</li> <li>・図書館より、リサイクル雑誌の抽選販売、図書館イベントの抽選申込について報告を行った。</li> </ul>						
配布資料	<p>1 次第</p> <p>2 配布資料</p> <table border="1" data-bbox="359 1153 1396 1288"> <tr> <td>資料1</td> <td>令和7年度 第2回鴻巣市立図書館協議会 配布資料</td> </tr> <tr> <td>資料2</td> <td>川里図書館空調設備等改修工事に伴う臨時窓口開設のお知らせ</td> </tr> <tr> <td>資料3</td> <td>令和8年度 セカンドブック候補本 (R8. 2. 16 現在)</td> </tr> </table>	資料1	令和7年度 第2回鴻巣市立図書館協議会 配布資料	資料2	川里図書館空調設備等改修工事に伴う臨時窓口開設のお知らせ	資料3	令和8年度 セカンドブック候補本 (R8. 2. 16 現在)
資料1	令和7年度 第2回鴻巣市立図書館協議会 配布資料						
資料2	川里図書館空調設備等改修工事に伴う臨時窓口開設のお知らせ						
資料3	令和8年度 セカンドブック候補本 (R8. 2. 16 現在)						